

特別講演 9月1日(木) A会場 15:30 - 18:30

座長：伊藤 孝司（徳島大学）

15:30 **A1-S1** オートファジーによる細胞内分解
水島 昇（東京大学医学系研究科）

座長：本家 孝一（高知大学）

16:10 **A1-S2** 海底下生命圏における炭素循環イノベーションの創出ー「超循環型社会」の実現に向けた海洋・地球・生命システムの潜在的機能についてー
稲垣 史生（海洋研究開発機構）

座長：加藤 晃一（名古屋市立大学）

16:50 **A1-S3** 日本近代植物分類学の父・牧野富太郎博士と高知県立牧野植物園
水上 元（高知県立牧野植物園）

レジェンドレクチャー

レジェンドレクチャー I 9月2日(金) 08:30 - 09:20 A会場

座長：深瀬 浩一（大阪大学）

08:30 **A2-L** 細菌表層複合糖質の化学と生物機能ー境界領域への挑戦と幸運な実り
楠本 正一（大阪大学名誉教授）

レジェンドレクチャーII 9月3日(土) 08:30 - 09:20 A会場

座長：遠藤 玉夫（東京都健康長寿医療センター）

08:30 **A3-L** **Glycosylation と Redox 制御のクロストーク**
谷口 直之（理化学研究所グローバル研究クラスター、理研-マックスプランク連携研究センター）

男女共同参画 9月1日(木) A会場 13:30 - 14:30

座長：松尾 一郎（群馬大学）

13:30 **A1-G1** 日本における男女共同参画の進捗状況ー学協会連絡会の活動を通じてー
○小川 温子¹、平田 典子²、大坪 久子²、佐藤 恵²、北爪 しのぶ¹、
相川 京子¹、横山 三紀¹、藤原 葉子¹、小林 哲幸¹、市 育代¹、
坂上 ひろみ¹、渡辺 恵子¹（¹男女共同参画学協会連絡会第14期運営事務局、²同アドバイザーボード）

14:00 **A1-G2** 高知大学の男女共同参画の取り組み
廣瀬 淳一（高知大学安全・安心機構）

奨励賞受賞講演 9月1日(木) A会場 14:30 - 15:30

座長：北島 健（名古屋大）、石田秀治（岐阜大学）

- 14:30 **A1-P1** **アスパラギン結合型糖鎖の生合成初期に関する研究**
原田 陽一郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）
- 14:50 **A1-P2** **グリコサミノグリカンの生合成異常による骨・皮膚疾患の糖鎖解析と癌転移における役割**
水本 秀二（名城大学薬学部）
- 15:10 **A1-P3** **有機ボロン酸の化学的特性を駆使した標的糖鎖の選択的合成と光分解に関する研究**
高橋 大介（慶應義塾大学理工学部）

ワークショップ 9月1日(木)

08:50 - 10:20 A会場

A1-W1「糖質科学における分子イメージングの活用」

オーガナイザー：樺山 一哉（大阪大学）、清中 茂樹（京都大学）

趣意説明

樺山 一哉（大阪大学大学院理学研究科）

バイオケミストリーとケミカルバイオロジーの接点

樺山 一哉（大阪大学大学院理学研究科）

ケミカルラベルによる細胞内在性タンパク質の可視化

清中 茂樹（京都大学大学院工学研究科）

生体組織透明化による全身丸ごとイメージング技術 CUBIC

田井中 一貴（東京大学大学院医学研究科）

マイクロ・ナノ空間を利用した糖質加水分解酵素の探索・機能解析

飯塚 怜（東京大学大学院薬学研究科）

総合討論

清中 茂樹（京都大学大学院工学研究科）

10:20 - 11:50 A会場

A1-W2「Notch 受容体の糖鎖研究から見た糖鎖機能の多様性と冗長性」

オーガナイザー：松野 健治（大阪大学）、岡島 徹也（名古屋大学）

Notch 受容体の O 型糖鎖修飾の研究からみえた機能冗長性

松野 健治、松本 顕治郎（大阪大学大学院理学研究科）

**Notch 受容体に関与するタンパクをコードする遺伝子変異による
2つの遺伝性色素異常症**

河野 通浩（名古屋大学大学院医学系研究科）

**マウス胚体節形成において Pofut1 の O-fucose 修飾酵素活性は Pofut1
タンパク質安定化制御を介した Notch シグナルの活性化に必須である**

安島 理恵子、相賀 裕美子（国立遺伝学研究所系統生物センター）

Notch シグナルとその修飾による T 細胞制御

安友 康二（徳島大学大学院医歯薬学研究部）

細胞外 O-GlcNAc が制御する Notch 受容体リガンド相互作用

岡島 徹也、澤口 翔伍、小川 光貴（名古屋大学大学院医学系研究科）

ワークショップ 9月2日（金）

09:30 - 11:30 A 会場

A2-W1「うどん県発！！希少糖プロジェクト」

オーガナイザー：塚本 郁子、中北 慎一（香川大学）

希少糖の生産戦略について

森本 兼司（香川大学農学部）

線虫を用いた生理活性希少糖のスクリーニング

佐藤 正資（香川大学農学部）

**希少糖 D-アロースにより活性化されるシグナル伝達系の解析と
それを用いた新規癌治療法開発の可能性**

神鳥 和代（香川大学医学部）

超分子 希少糖

石井 知彦（香川大学工学部）

希少糖とメイラード反応

早川 茂（香川大学農学部）

希少糖研究の現在・過去・未来

塚本 郁子（香川大学医学部）

10:20 - 11:50 D 会場

D2-W「糖鎖情報学ワークショップ」

糖鎖インフォマティクスにおける産学連携

オーガナイザー：山田 一作（野口研究所）、木下 聖子（創価大学）

国際糖鎖構造リポジトリ GlyTouCan の新バージョン Toco

○木下 聖子^{1,2}、新町 大輔¹、青木 信行¹、藤田 晶大¹、土屋 伸一郎¹、
松原 正陽³、藤田 典昭²、鈴木 芳典²、イエレナ ソロビヨワ²、
鹿内 俊秀²、奥田 修二郎⁴、川崎 敏祐⁵、山田 一作³、成松 久²

（1 創価大、2 産総研、3 野口研、4 新潟大、5 立命館大）

Automation for Rapid Identification of Glycan Structures using Liquid Chromatography-Mass Spectrometry Data with SimGlycan
Ningombam Sanjib Meitei (PREMIER Biosoft, Palo Alto, USA and PREMIER Biosoft, Indore, India)

糖鎖試薬と構造情報の提供

石原 幹生、松崎 祐二 (東京化成工業)

糖鎖構造の明確化

山田 一作 (野口研究所)

ACGG-DB : セマンティック・ウェブを活用したアジアの糖鎖科学データ
成松 久 (産業技術総合研究所)

ワークショップ 9月3日 (土)

09:20 - 10:50 A会場

**A3-W1「エンドグリコシダーゼを用いる
グライコエンジニアリングの進展と課題」**

オーガナイザー：山本 憲二 (石川県立大学)、伊藤 孝司 (徳島大学)

改変型 Endo-M によるトランスグリコシレーション法の改良と応用

山本 憲二 (石川県立大学生物資源工学研究所)

Endo-M の実用化に向けて

稲津 敏行 (東海大学工学部)

やってみてわかったトランスグリコシレーションの課題と解決へ向けて

千葉 靖典、高橋 佳江 (産業技術総合研究所)

エンド M 酵素を用いる抗体糖鎖の改変と糖鎖供与体の化学合成

松崎 祐二 (東京化成工業)

エンドグリコシダーゼを用いるネオグライコ酵素の創製と

リソソーム病治療薬開発への応用

伊藤 孝司 (徳島大学大学院医歯薬学研究部)

10:50 - 12:30 A会場

A3-W2「変貌するレクチン科学と医療応用」

オーガナイザー：舘野 浩章 (産業技術総合研究所)、山本 一夫 (東京大学)

**膵がんの糖鎖バイオマーカーとしてのフコシル化ハプトグロビンの発見と
その臨床応用**

三善 英知 (大阪大学)

レクチンとしての繊維芽細胞増殖因子 FGF

浅田 眞弘 (産業技術総合研究所)

薬剤融合レクチンによる肝癌治療

小田 竜也（筑波大学）

レクチン阻害剤の創薬

中島 元夫（SBI ファーマ株式会社）

15:00 - 16:30 A会場
A3-W3「次世代グライコケミカルバイオロジーによる
グライコフォームの新展開」

オーガナイザー：田中 克典（理化学研究所）

趣意説明

田中 克典（理化学研究所）

分岐型糖鎖の非対称性とダイナミクス

山口 芳樹（理化学研究所）

グライコフォームを予測する革新的理論化学

李 秀栄（理化学研究所）

トップダウン酵素化学法の開発と糖タンパク質糖鎖の機能解析

武田 陽一（立命館大学）

グリコサミノグリカンの糖鎖暗号解読に向けて

若尾 雅広（鹿児島大学）

複合型シアリル糖鎖付加様式とタンパク質活性発現

梶原 康宏（大阪大学）

**グライコフォーム分子による動物内でのパターン認識とターゲティング、
および総括**

田中 克典（理化学研究所）

口頭発表 9月1日(木) B会場

セッション「糖鎖解析 I」 08:50 - 10:20

座長：川崎 ナナ（横浜市立大学）、中の 三弥子（広島大学）

- 08:50 **1B-01 リン酸化並びに硫酸化糖鎖の網羅的解析技術の開発**
○山田 佳太¹、栢原 春奈²、鈴木 光司¹、廣畑 好彦¹、木下 充弘²、
鈴木 茂生²、坂崎 文俊¹（¹大阪大谷大学・薬学部、²近畿大学・薬学部）
- 09:00 **1B-02 糖ペプチドのイオンモビリティ質量分析法**
○田尻 道子¹、竹内 孝江²、本郷 やよい³、中村 健道⁴、廣瀬 賢治⁵、
和田 芳直¹（¹大阪府立母子保健総合医療センター、²奈良女子大学、³東
京工業大学地球生命研究所、⁴理化学研究所、⁵日本ウォーターズ）
- 09:10 **1B-03 HILIC-ESI-MSによるグルコース化脂質異性体の定性・定量分析と
その臨床応用**
○中嶋 和紀^{1,3}、秋山 央子¹、伊藤 恵実¹、岩淵 和久²、湯澤 由紀夫³、
平林 義雄¹（¹理化学研究所・脳センター、²順天堂大・環境医学研究所、³
藤田保健衛生大）
- 09:20 **1B-04 疾患のバイオマーカー探索のための LC-ESI MSによる糖鎖構造解析**
中の 三弥子¹、高橋 志郎¹、白井 亮平¹、伊藤 潤¹、白井 克典¹、山本 彩
佳¹、三善 英知²、谷口 直之³（¹広島大学大学院先端物質科学研究科、²
大阪大学大学院医学系研究科、³理化学研究所システム糖鎖生物学研究グル
ープ）
- 09:40 **1B-05 乳がん細胞糖タンパク質糖鎖のミクロ不均一性変化の解析**
○高倉 大輔¹、吉田 晴香²、川崎 ナナ^{1,2}（¹横浜市立大学大学院生命医科
学研究科、²横浜市立大学国際総合科学部）
- 09:50 **1B-06 レーザーマイクロダイセクション-レクチンアレイによるマウス組織切片
の高精度比較グライコミクス**
○岡谷（永井）千晶¹、Zou Xia²、吉田 真樹¹、岩城 隼¹、佐藤 隆¹、
松田 厚志¹、TAN Binbin²、萩原 梢¹、板倉 陽子³、野呂 絵里花¹、
豊田 雅士³、TAO Sheng-Ce²、ZHANG Yan²、成松 久¹、久野 敦¹（¹産
業技術総合研究所 創薬基盤研究部門、²上海交通大学 上海系統生物医学研
究センター、³東京都健康長寿医療センター研究所 血管医学研究）
- 10:00 **1B-07 エクソソーム・ウイルス粒子を標的とした比較糖鎖プロファイリング**
○松田 厚志¹、久野 敦¹、吉田 真樹¹、我妻 孝則¹、中川 知美²、宮岸 真³、
齋藤 こずえ¹、安形 清彦¹、是永 匡紹⁴、溝上 雅史⁴、末松 誠²、加部 泰
明²、成松 久¹（¹産総研創薬基盤研究部門、²慶應義塾大学医学部、³産総
研バイオメディカル研究部門、⁴国立国際医療センター肝炎・免疫研究セン
ター）

セッション「糖鎖解析 II」 10:20 - 11:30

座長：丑田 公規（北里大学）、中北 慎一（香川大学）

- 10:20 **1B-08 ESI-MS を用いたクラゲ由来ムチンの O 型糖鎖解析**
○丑田 公規、杉山 みなみ、貝瀬 汐莉、小林 樹来、大畑 絢香、犬井 洋、上田 卓典（北里大理）
- 10:40 **1B-09 G-CSFR における C 型糖修飾の機能解析**
大谷 慧¹、○丹羽 祐貴¹、鈴木 健裕²、佐藤 夏実¹、笹澤 有紀子¹、堂前直²、清水 史郎¹（¹慶應義塾大学理工学部応用化学科、²理化学研究所環境資源科学研究センター技術基盤部門生命分子解析ユニット）
- 10:50 **1B-10 ハイクサネム種子から新規の多分岐ガラクトマンナンの同定**
岸野 誠¹、上地 俊徳¹、田幸 正邦^{1,2}（¹琉球大生資科、²健康長研）
- 11:10 **1B-11 軟骨魚類由来コンドロイチン硫酸の含有量と組成分析**
○武田-奥田 尚子、竇来 佐和子、田村 純一（鳥取大地域環境）
- 11:20 **1B-12 β グルコオリゴ糖の構造解析法の開発**
住吉 渉¹、宮西 伸光^{1,3}、○中北 慎一²、筒井 翔子^{1,5}、山田 佳太^{1,4}、中北 ゆかり²、吉岡 伸⁵、浅尾 正勝⁵、平林 淳^{1,2}（¹香川大・総合生命・糖質バイオ研究部門、²香川大・総合生命・糖鎖機能解析研究部門、³東洋大・食環境科学・糖質生命、⁴大阪大谷大・薬・衛生毒性学、⁵宝食品（株））

口頭発表 9月1日（木）C会場

セッション「神経・筋」 08:50 - 10:20

座長：北川 裕之（神戸薬科大学）、内村 健治（名古屋大学）

- 08:50 **1C-01 ヘパラン硫酸の合成異常が神経発生と行動に与える影響についての解析**
○灘中 里美、石野 敦重、尾ノ井 孝一、灘井 めぐみ、粟津 朋代、北川 裕之（神戸薬科大学・生化学）
- 09:10 **1C-02 損傷した神経で起こる糖鎖によるオートファジー中断**
○尾崎 智也、坂元 一真、Yuanhao Gong、内村 健治、門松 健治（名古屋大学大学院医学系研究科生物化学講座）
- 09:30 **1C-03 ショウジョウバエにおける T 抗原の生理機能解析**
○伊藤 和義¹、秋元 義弘²、不破 尚志¹、木下 貴明¹、西田 弘¹、西原 祥子¹（¹創価大学大学院工学研究科生命情報工学専攻、²杏林大学医学部解剖学教室）
- 09:50 **1C-04 クプリゾン投与による脱髄モデルにおける分岐型 O-マンノース糖鎖の発現と機能の解析**
○作田 香子^{1,3}、北爪 しのぶ¹、兼清 健志¹、稲森 啓一郎¹、佐藤 敬子¹、木塚 康彦¹、荻原 健²、松尾 一郎²、小川 温子³、谷口 直之¹（¹理研・理研-マックスプランク連携研究センター・疾患糖鎖、²群馬大院・工学研究科、³お茶の水女子大院・人間文化創成科学研究科）

10:00 **1C-05** **パーキンソン病発症因子・酸性グルコシルセラミド分解酵素 GBA1 の新規糖脂質代謝産物の発見**
○秋山 央子¹、中嶋 和紀¹、伊藤 喜之²、佐矢野 智子¹、長塚 靖子¹、大橋 陽子¹、山口 芳樹³、Peter Greimel⁴、平林 義雄¹ (¹理研・脳科学総合研究センター・神経膜機能研究チーム、²日本電子(株)・MS事業ユニット・MSアプリケーション部、³理研・グローバル研究クラスター・理研・マックスプランク連携研究センター・システム糖鎖生物学研究グループ・糖鎖構造生物学研究チーム、⁴理研・小林脂質生物学研究室)

10:10 **1C-06** **筋分化過程における GM3 分子種変化の分子機構解析**
○郷 詩織^{1,2}、郷 慎司³、ベイロン ルーカス³、井ノ口 仁一³、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2} (¹名大院・生命農学、²名大・生物機能セ、³東北医科薬科大・分子生体膜研)

セッション「免疫・感染」10:20 - 11:50

座長：岩淵 和久（順天堂大学）、大谷 克城（旭川医科大学）

10:20 **1C-07** **結核菌による LacCer を利用したヒト好中球の食胞成熟回避機構について**
○岩淵 和久^{1,2,3}、中山 仁志^{2,3}、横山 紀子³、石井 久美子³ (¹順天堂大学・院医療看護・感染制御看護、²順天堂大学・医療看護・生化学、³順天堂大学・院 医・環境医学研究所)

10:40 **1C-08** **コレラ毒素の作用における糖タンパク質とフコシル化の役割**
○藤田 明子¹、Amberlyn M. Wands²、Janet E. McCombs²、Jakob Cervin^{3,4}、Andrea C. Rodriguez²、Nicole Nischan²、Ulf Yrlid^{3,4}、Jennifer Kohler² (¹京都産業大学大学院 生命科学研究科、²Department of Biochemistry, UTSW, USA、³Department of Microbiology and Immunology, Institute of Biomedicine, Gothenburg Univ., Sweden、⁴Mucosal Immunobiology and Vaccine Center, Institute of Biomedicine, Gothenburg Univ., Sweden)

11:00 **1C-09** **緑膿菌ゲノムにおいてスフィンゴ脂質分解酵素遺伝子の近傍に位置する糖脂質合成酵素遺伝子**
沖野 望¹、伊東 信^{1,2} (¹九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門、²九州大学大学院農学研究院イノベーションバイオアーキテクチャーセンター)

11:10 **1C-10** **コレクチン CL-P1 は、急性期タンパク CRP を介して補体経路を活性化する**
○大谷 克城¹、ロイ ニタイ¹、松田 泰幸¹、森 健一郎¹、黄 仁秀¹、井上 徳光²、若宮 伸隆¹ (¹旭川医大・医・微生物、²大阪府立成人病センター研究所・腫瘍免疫)

11:30 **1C-11** **マラリアタンパク質 VAR2CSA と酵素合成コンドロイチン硫酸 A ライブラリーとの相互作用解析**
○杉浦 信夫¹、トーマス マンデル クラウゼン²、塩入 達政¹、トビアス グスタブソン²、渡辺 秀人¹、アリ サランティ² (¹愛知医科大学分子医科学研究所、²コペンハーゲン大学医学寄生虫学センター)

- 11:40 **1C-12** **関節炎惹起性 IgG のシアル酸修飾はコラーゲン誘発性関節炎の抑制機能を付与する**
○大海 雄介^{1,2}、伊勢 渉³、原園 景⁴、高倉 大輔⁵、福山 英啓⁶、川崎 ナナ⁵、河原 敏男⁷、黒崎 知博^{3,6}、高橋 宜聖²、古川 鋼一^{1,8}
(¹名大・院医・²生化、²感染研・免疫、³大阪大学・IFReC・分化制御、⁴衛研・生物薬品、⁵横市大・生命医科・プロテオーム、⁶理研・IMS・分化制御、⁷中部大・工・電子情報、⁸中部大・生命健康)

口頭発表 9月2日(金) B会場

セッション「合成・反応開発 I」09:30 - 10:40

座長：安藤 弘宗（岐阜大学）、田中 浩士（東京工業大学）

- 09:30 **2B-01** **ラフト分子の1分子イメージングに向けた蛍光ガングリオシドの開発**
○河村 奈緒子^{1,2}、鈴木 健一²、安藤 弘宗^{1,2}、小西 美紅^{1,2}、今村 彰宏¹、石田 秀治¹、楠見 明弘²、木曾 真^{1,2}(¹岐阜大・応用生物、²京都大・iCeMS)
- 09:50 **2B-02** **神経突起伸展活性を有するウミシダ由来シアル酸含有糖脂質 CJP 系列の全合成**
玉井 秀樹^{1,2}、後藤 健太¹、武田 陽¹、水野 孝¹、○安藤 弘宗^{1,2}、今村 彰宏¹、石田 秀治¹、木曾 真^{1,2}(¹岐阜大・応用生物、²京都大・iCeMS)
- 10:00 **2B-03** **シアロ糖鎖の化学的構築に向けた C5-Ureido 型シアル酸供与体の開発**
○今村 彰宏¹、棚瀬 舞子¹、安藤 弘宗^{1,2}、石田 秀治¹、木曾 真^{1,2}
(¹岐阜大・応用生物、²京都大学・iCeMS)
- 10:10 **2B-04** **環状カーボネート保護基を有するシアル酸糖供与体を用いる $\alpha(2,8)$ オリゴシアル酸の合成研究**
○鯉沼 僚輔、青柳 拓、田中 浩士（東工大院物質理工）
- 10:20 **2B-05** **直接的グリコシル化による O-メチル糖脂質合成と環状ホウ素化合物を用いた修飾法の開発**
○佐藤 航、鈴木 涼太、田中 浩士（東工大院物質理工）

セッション「合成・反応開発 II」10:40 - 11:50

座長：山田 英俊（関西学院大学）、蟹江 治（東海大学）

- 10:40 **2B-06** **STn 抗原を利用したアジュバント複合化がんワクチンの合成**
○張 宗哲¹、真鍋 良幸¹、藤本 ゆかり²、深瀬 浩一¹ (¹大阪大学大学院理学研究科、²慶応義塾大学理工学部化学科)
- 11:00 **2B-07** **ピロリ由来 $\alpha 1,3$ -フコース転移酵素のユニークな基質特異性**
長島 生¹、作田 智美¹、蟹江 善美²、蟹江 治²、○清水 弘樹¹ (¹産業技術総合研究所生物プロセス研究部門、²東海大学先進生命科学研究所)

- 11:20 **2B-08 ケラタナーゼ II の糖転移反応により合成可能なケラタン硫酸構造の探索**
○山崎 悠司、木村 俊作、大前 仁 (京都大学大学院工学研究科材料化学専攻)
- 11:30 **2B-09 大腸菌膜タンパク質挿入機構解明を目指した糖脂質 MPIase 部分構造の合成**
○藤川 紘樹¹、永瀬 良平¹、丹羽 晶子¹、土屋 聡史¹、下田 綾乃¹、
西山 賢一²、島本 啓子¹ (¹(公財) サントリー生命科学財団生物有機科学
研究所、²岩手大学農学部寒冷バイオフィロンティア研究センター)
- 11:40 **2B-10 3,6-O-[ビベンジル-2,2'-ビス(メチレン)]架橋 α -グルコース六量体の
合成と構造決定**
○生田 大喜、苫米地 祐輔、池内 和忠、山田 英俊 (関西学院大学院理工
学研究科)

口頭発表 9月2日(金) C会場

セッション「発生・再生・幹細胞」09:30 - 10:10

座長：西原 祥子 (創価大学)

- 09:30 **2C-01 alpha2-6 シアリル N 型糖鎖はヒト間葉系幹細胞の
分化ポテンシャルマーカーである**
○館野 浩章¹、馳平 加代¹、豊田 雅士²、小沼 泰子¹、伊藤 弓弦¹、阿久
津 英憲³、平林 淳¹ (¹国立研究開発法人産業技術総合研究所、²地方独立
行政法人東京都健康長寿医療センター、³国立成育医療研究センター)
- 09:50 **2C-02 ケラタン硫酸認識ヒト iPS/ES 細胞マーカー抗体**
中尾 広美¹、川崎 伸子¹、永井 裕子²、小嶋 絢²、豊田 英尚²、○川崎 敏祐¹
(¹立命館大・糖鎖工学研セ、²立命館大・薬・生体分析化学)
- 10:00 **2C-03 脊椎生物特異的ポリペプチド N-アセチルガラクトサミン転移酵素を
欠失したゼブラフィッシュ変異体の作製**
○中村 直介¹、辻本 優季¹、高橋 由衣¹、川合 多美子¹、中山 喜明²、
小西 守周²、黒坂 光¹ (¹京都産業大学・総合生命・生命システム、²神戸
薬科・微生物化学)

セッション「癌・疾病 I」10:10 - 11:50

座長：萬谷 博 (東京都健康長寿医療センター)、稲森 啓一郎 (東北医科薬科大学)

- 10:10 **2C-04 アミロイド産生と脳アミロイドアンギオパチーを規定する血管内皮細胞の
O-GalNAc 型糖鎖**
○北爪 しのぶ¹、立田 由里子¹、木 康彦¹、今牧 理恵¹、加藤 雅樹²、
山口 芳樹²、田中 克典³、中の 三弥子⁴、斎藤 貴志⁵、西道 隆臣⁵、
萬谷 博⁶、遠藤 玉夫⁶、橋本 康弘⁷、谷口 直之¹ (¹理研・疾患糖鎖研究
チーム、²理研・糖鎖構造生物学研究チーム、³理研・生体機能合成化学研
究室、⁴広島大学大学院・先端物質科学研究科、⁵脳科学総合研究センター・
神経蛋白制御研究チーム、⁶東京都健康長寿医療センター・老化機構研究チ
ーム、⁷福島県立医科大学・生化学講座)

- 10:30 **2C-05 糖転移酵素 POMGnT1 の糖鎖認識機構解析**
 ○桑原 直之¹、萬谷 博²、山田 健之²、舘野 浩章³、金川 基⁴、小林 千浩⁴、赤阪 啓子²、弘瀬 友理子⁵、水野 真盛⁵、池口 満徳⁶、戸田 達史⁴、平林 淳³、千田 俊哉¹、遠藤 玉夫²、加藤 龍一¹ (¹高工ネ研・構造生物、²都健康長寿医療センター、³産総研・創薬基盤、⁴神戸大院・医、⁵野口研、⁶横浜市大院・生命医)
- 10:40 **2C-06 ガングリオシド GM3 分子種による新たな「慢性炎症増悪ループ」の発見**
 狩野 裕考、ベイロン ルーカス、郷 慎司、新田 昂大、○井ノ口 仁一 (東北医科薬科大学分子生体膜研究所機能病態分子学教室)
- 11:00 **2C-07 レプチンおよびメラノコルチン受容体の機能におけるガングリオシドの役割の検討**
 ○稲森 啓一郎¹、伊藤 英樹¹、田村 有美¹、楊 燕華¹、二瓶 渉¹、突田 壮平²、山田 哲也²、片桐 秀樹²、井ノ口 仁一¹ (¹東北医薬大・分子生体膜研・機能病態分子学、²東北大・院医・糖尿病代謝内科学)
- 11:10 **2C-08 グリオーマにおいてガングリオシド GD3 は PDGFR α の発現を誘導する**
 ○大川 祐樹¹、百田 洋之^{3,4}、加藤 彰³、橋本 登²、古川 圭子¹、大海 雄介²、夏目 敦史³、若林 俊彦³、古川 鋼一^{1,2} (¹中部大学・生命健康科学部、²名古屋大学・医学系研究科・第二生化学、³名古屋大学・医学系研究科・脳神経外科、⁴東京大学・医科学研究所・脳腫瘍外科)
- 11:20 **2C-09 GD3 は炎症性サイトカインを介してグリオーマ関連ミクログリアの M1 様表現型を抑制する**
 ○張 璞^{1,2}、大川 祐樹²、Bhuiyan RH^{1,2}、百田 洋之³、若林 俊彦³、大海 雄介¹、古川 圭子²、岡島 徹也^{1,2}、古川 鋼一^{1,2} (¹名古屋大学大学院医学系研究科生化学第二講座、²中部大学生命健康科学研究所、³名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科)
- 11:30 **2C-10 血餅退縮における硫酸化スフィンゴ糖脂質スルファチドの機能解析**
 井口 智弘¹、林 もゆる¹、兼田 瑞穂¹、大塚 拓子⁰、下仲 基之²、山本 正雅³、山下 竜幸⁴、本家 孝一⁴、○笠原 浩二¹ (¹東京都医学研・細胞膜、²東京理科大院・総合化学、³奥羽大・薬、⁴高知大・医)
- 11:40 **2C-11 ピーチ由来の高純度グルコシルセラミドの精製及び構成成分の単離精製**
 ○藤野 和孝、松本 恵実、牧岡 富広、中塚 進一 (長良サイエンス株式会社)

口頭発表 9月3日(土) B会場

セッション「ケミカルバイオロジーI」09:30 - 10:30

座長：島本 啓子 (サントリー生命科学財団)、和泉 雅之 (大阪大学)

- 09:30 **3B-01 糖鎖改変トラスツズマブの調製とその活性**
 ○月村 亘¹、森 昌子¹、大隅 賢二¹、戸治野 真美¹、高島 晶¹、菅原 州一¹、弘瀬 友理子¹、水野 真盛¹、天野 純子¹、黒河内 政樹¹、工藤 純²、木下 崇司³、竹川 薫⁴、白井 孝¹、松田 昭生¹ (¹(公財)野口研究所、²慶應義塾大学医学部遺伝子医学研究室、³(株)伏見製薬所、⁴九州大学大学院農学研究院)

09:40 **3B-02** **グライコシターゼによる TG カイコ由来ヒトリソソーム酵素の N 型糖鎖リモデリング**
○西岡 宗一郎^{1,9}、小林 功^{3,9}、原園 景^{4,10}、久保 勇樹⁵、松崎 祐二⁶、真板 宣夫⁷、日高 朋²、辻 大輔^{1,9}、瀬筒 秀樹^{3,9,10}、町井 博明^{3,9}、石井 明子^{4,10}、川崎 ナナ^{8,10}、伊藤 孝司^{1,9,10} (1 徳島大院薬、2 徳島大薬、3 農研機構、4 国立衛研.生物薬品部、5 増田化学工業 (株)、6 東京化成工業 (株)、7 徳島大先端酵素研、8 横浜市大院生命医科学、9 医薬品作物・医療用素材等の開発 PT、10 AMED 創薬基盤推進研究事業)

09:50 **3B-03** **脂質認識部位を制御する新規リガンドを用いた CD1d の機能解析**
○平田 菜摘¹、相羽 俊彦^{1,2}、内梨 洋介³、市原 収⁴、吉留 大輔⁴、喜多 俊介⁵、前仲 勝実⁵、深瀬 浩一²、井貫 晋輔¹、藤本 ゆかり¹ (1 慶大理工、2 阪大院理、3 日本ポール株式会社、4 シュレーディング株式会社、5 北大院薬)

10:00 **3B-04** **ラフィア繊維は繊維細胞とクチクラ膜の層状コンポジットである**
○東 順一¹、金山 裕亮²、辻本 敬³、吉永 新⁴、本田 与一⁴ (1 大阪大学産業科学研究所、2 (株)サンアクティス、3 大阪大学工学研究科、4 京都大学農学研究科)

10:20 **3B-05** **糖鎖クラスターを触媒キャリアとした生体内触媒反応**
○坪倉 一輝^{1,2}、ケンワード ヴォン¹、中尾 洋一²、田中 克典^{1,3,4}
(1 理研生体機能合成化学、2 早大院先進、3 カザン大学アレクサンドルブトレーフ研究所、4 JST さきがけ)

セッション「ケミカルバイオロジーII・イメージング・バイオインフォマティクス」10:30 - 11:30

座長：藤本 ゆかり（慶應義塾大学） 真鍋 良幸（大阪大学）

10:30 **3B-06** **組織染色可能な蛍光シアリダーゼ基質の合成と応用**
○大坪 忠宗¹、紅林 佑希²、寺岡 文照¹、南 彰²、高橋 忠伸²、鈴木 隆²、池田 潔¹ (1 広島国際大・薬、2 静岡県立大・薬)

10:50 **3B-07** **不均一糖鎖クラスターの生体内パターン認識による体外排出、およびがんターゲティングの選択性**
○Regina Sibgatullina^{1,2}、Lilii Latypova^{1,2}、藤木 勝将¹、小椋 章弘¹、田原 強³、野崎 聡³、浦野 清香¹、尾上 浩隆³、渡辺 恭良³、Almira Kurbangalieva²、田中 克典^{1,2,4} (1 理研・田中生体機能合成化学研究室、2 カザン連邦大学、3 理研・ライフサイエンス技術基盤研究センター、4 JST さきがけ)

11:00 **3B-08** **光感応性基を有する糖タンパク MCP-1 の合成と小胞体破碎液中でのリフォールディング過程の追跡**
向川 友紀¹、和泉 雅之¹、岡本 亮¹、伊藤 幸成²、梶原 康宏¹ (1 大阪大学大学院理学研究科、2 理化学研究所)

- 11:10 **3B-09 蛍光イメージング法によるアルブミン AGE の体内動態**
○筒井 歩¹、小椋 章弘¹、田原 強²、野崎 聡²、浦野 清香¹、尾上 浩隆²、渡辺 恭良²、谷口 直之³、田中 克典^{1,4,5} (¹理研・生体機能合成化学研究室、²理研・ライフサイエンス技術基盤研究センター、³理研・グローバル研究クラスタ、⁴カザン連邦大学、⁵JST さきがけ)

- 11:20 **3B-10 大規模グライコミクスにおける発現解析へのインフォマティクスからのアプローチ：スフィンゴ糖脂質**
○三浦 信明¹、古川 潤一²、横田 育子²、岡田 和恵²、篠原 康郎³
(¹お茶大・生命情報セ、²北大医・整形外科、³金城学院大・薬)

セッション「糖質資源および関連酵素」11:30 - 12:50

座長：北岡 本光（農業・食品産業技術総合研究機構）、河原林 裕（産業技術総合研究所）

- 11:30 **3B-11 単糖を出発としたワンポット酵素法によるグリコシド実用的調製法の開発**
○北岡 本光¹、西本 完¹、伊藤 佑¹、中井 博之² (¹農研機構食品研究部門、²新潟大学農学部)
- 11:50 **3B-12 多糖複合フィルムの機能化と細胞足場材料としての応用**
○飯島 一智^{1,2}、辻 優奈²、柿本 敦史²、柴田 智教²、栗城 和泉²、二ノ宮 理恵³、伊豫田 拓也³、深井 文雄³、橋詰 峰雄^{1,2} (¹東理大工、²東理大院総化学、³東理大薬)
- 12:10 **3B-13 超好熱アーキア *Sulfolobus tokodaii* での新規ガラクトサミン代謝経路の発見**
○河原林 裕^{1,2}、モハマド ダダシプール² (¹国立研究開発法人産業技術総合研究所、²九州大学大学院農学研究院)
- 12:30 **3B-14 単孔類と有袋類におけるミルクオリゴ糖とその機能の進化**
浦島 匡¹、マイケル メッサー²、オラブ オフテダル³ (¹帯広畜産大学、²シドニー大学、³スミソニアン環境研究所)

セッション「糖鎖認識」15:00 - 16:10

座長：賀来 華江（明治大学）、山口 芳樹（理化学研究所）

- 15:00 **3B-15 キチンオリゴ糖による植物免疫受容体の活性化機構**
○賀来 華江¹、リタ ベリシオ²、アントニオ モリナロ³、渋谷 直人¹
(¹明治大学、²イタリア国立生体構造・バイオイメージング研究所、³ナポリ大学)
- 15:20 **3B-16 大腸菌発現から示唆された臍リパーゼを修飾する糖鎖の意義**
川口 奈奈美^{1,2}、富田 千尋^{1,2}、檜館 里奈^{1,2}、相川 京子^{1,3}、小川 温子¹
(¹お茶の水女子大学、²大学院理学専攻、³基幹研究院自然科学系)
- 15:30 **3B-17 糖鎖間相互作用のメカニズム解析：糖修飾トリスビピリジン鉄錯体を用いた動的コンビケム的アプローチ**
野中 祐紀¹、宇留野 龍平²、代 芙美子¹、松岡 亮次¹、岩村 真帆¹、中村 真基¹、天野 善継²、千明 脩人²、○長谷川 輝明^{2,3} (¹東洋大院生命、²東洋大生命、³東洋大バイオナノ)

- 15:40 **3B-18 糖鎖高分子ゲルの分子認識と機能**
○三浦 佳子（九州大学大学院工学研究院）
- 15:50 **3B-19 スフィンゴ糖脂質含有平面膜を用いたアミロイドβ繊維形成のメカニズム解析**
○佐藤 智典¹、安盛 花季¹、中井 真子¹、松原 輝彦¹、下赤 卓史²、
長谷川 健²（¹慶應義塾大学理工学部、²京都大学化学研究所）
- 16:00 **3B-20 N型糖鎖の立体構造のレクチンを使った可視化**
○長江 雅倫、山口 芳樹（理化学研究所糖鎖構造生物学研究チーム）

セッション「合成・反応開発 III」 16:10 - 17:40

座長：高橋 大介（慶應義塾大学）、眞鍋 史乃（理化学研究所）

- 16:10 **3B-21 RNA二重鎖特異的に結合するカチオン性オリゴ糖の開発と核酸医薬への応用展開**
○原（岩田）倫太郎¹、前田 雄介¹、坂本 泰一²、和田 猛¹（¹東京理科大学薬学部、²千葉工業大学先進工学部）
- 16:30 **3B-22 1,2-cis アミノグリコシド合成における直接法と異性化法の比較**
○眞鍋 史乃、伊藤 幸成（理化学研究所）
- 16:40 **3B-23 新規有機光酸触媒の探索と光グリコシル化反応への応用**
○青柳 学、高橋 大介、戸嶋 一敦（慶應義塾大学理工学部応用化学科）
- 16:50 **3B-24 ボロン酸触媒を用いた無保護糖受容体に対する位置及び立体選択的グリコシル化反応の開発**
○中川 彰、田中 将道、高橋 大介、戸嶋 一敦（慶應義塾大学理工学部応用化学科）
- 17:00 **3B-25 無保護糖を用いる S_N2 型グリコシル化法の開発**
○永石 優、竹内 裕紀、藤森 悠介、上田 善弘、古田 巧、川端 猛夫
（京都大学化学研究所）
- 17:10 **3B-26 マイクロフローシステムを用いたグルコシル化反応とマイクロフローシステムの小スケール化**
○増井 誠二¹、眞鍋 良幸¹、ジュリントン シアンツリ¹、徳永 健斗¹、下山 敦史¹、福山 高英²、柳 日馨²、深瀬 浩一¹（¹大阪大学大学院理学研究科化学専攻、²大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻）
- 17:20 **3B-27 植物由来 β-L-アラビノフラノシド構造の立体選択的構築**
○石渡 明弘、伊藤 幸成（理研）
- 17:30 **3B-28 GLUT を通過する青色蛍光グルコース CDG の合成と取り込みの評価**
○大塚 祐治¹、佐々木 綾子²、豊島 正¹、山田 勝也²、山本 敏弘^{1,3}
（¹株式会社ペプチド研究所、²弘前大学大学院医学研究科、³大阪大学大学院理学研究科）

セッション「糖鎖生合成・分解経路 I」09:30 – 11:20

座長：佐藤 ちひろ（名古屋大学）、北爪 しのぶ（理化学研究所）

- 09:30 **3C-01** **CMP-シアル酸合成酵素はメダカにおいて点変異依存的な表現型を示す**
Di Wu^{1,2,3}、Akiko Fujita¹、Yuko Yasukawa^{1,3}、Yoshihito Taniguchi⁴、
Yasuhiro Kamei⁵、Chihiro Sato^{1,2,3}、Ken Kitajima^{1,2,3}（¹Biosci. Biotech.
Center、²Program for Leading Graduate Schools IGER、³Grad. Sch.
Bioagr. Sci., Nagoya Univ.、⁴Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya Univ.、⁵Nat.
Inst. Basic Biol）
- 09:50 **3C-02** **ヒト糖鎖難病の解明のためのツールとしての線虫糖鎖遺伝子解析**
○野村 一也¹、金氣 菜々子²、力武 茉莉花²、任 建宇²、陶 真怡¹、
久保 沙耶香¹、出嶋 克史³、三谷 昌平³、平林 義雄⁴、野村 和子¹、
鹿内 俊秀⁵、鈴木 芳典⁵、成松 久⁵、山本 健⁶（¹九州大学理学研究院生
物科学部門、²九州大学システム生命科学府、³東京女子医科大学、⁴理研・
脳科学総合研究センター、⁵産総研、⁶久留米大学医学部）
- 10:10 **3C-03** **リビトールリン酸を含む O-マンノース型糖鎖の新奇構造と
生合成機構**
○萬谷 博¹、金川 基²、小林 千浩²、田尻 道子³、久我 敦²、山口 芳樹⁴、
赤阪-萬谷 啓子¹、古川 潤一⁵、水野 真盛⁶、川上 宏子⁶、篠原 康郎⁵、
和田 芳直³、戸田 達史²、遠藤 玉夫¹、（¹都健康長寿医療セ、²神戸大院
医、³大阪母子医療セ、⁴理研、⁵北大院先端生命、⁶野口研）
- 10:30 **3C-04** **GPI 特異的なホスホリパーゼ A2 である PGAP6 は GPI アンカー型
タンパク質 CRIPTO を遊離させる**
○イ ゴンヒ^{1,2}、藤田 盛久³、村上 良子^{1,2}、前田 裕輔^{1,2}、木下 タロウ^{1,2}
（¹大阪大学免疫フロンティア研究センター、²大阪大学微生物病研究所、
³江南大学生物工程学院）
- 10:40 **3C-05** **ヘパラン硫酸糖鎖構造変化を介したペクチンによる腸管上皮細胞応答の解明**
桑江 俊成、西田 光貴、伊藤 千弘、北口 公司、○矢部 富雄（岐阜大・応
用生物学・応用生命）
- 10:50 **3C-06** **ゲノム編集技術を用いたスフィンゴ脂質・糖鎖の代謝研究**
○山地 俊之¹、関塚 剛史²、八尋 錦之助³、鈴木 佑典⁴、櫛 泰典⁴、
黒田 誠²、花田 賢太郎¹（¹感染研・細胞化学部、²感染研・ゲノム解析セ
ンター、³千葉大・医、⁴日大・理工）
- 11:10 **3C-07** **ケミカルバイオロジーによるフコシル化糖鎖検出のためのプローブ開発**
○木塚 康彦¹、船山 奨^{2,3}、庄籠 秀彦^{2,3}、中の 三弥子⁴、中嶋 和紀^{2,5}、
北爪 しのぶ¹、谷口 直之^{1,2}（¹理研・疾患糖鎖研究チーム、²阪大・疾患
糖鎖学、³生化学工業、⁴広大・院・先端物質科学研究科、⁵藤田保健衛生大・
研究支援促進センター）

セッション「糖鎖生成・分解経路 II」 11:20 - 12:20 / 15:00 - 15:40

座長：鈴木 匡（理化学研究所）、佐藤 匡史（名古屋市立大学）

- 11:20 **3C-08 グルコース残基を目印とした小胞体品質管理システムの構造的理解**
○佐藤 匡史^{1,2}、Zhu Tong^{1,3}、年森 隆泰^{1,3}、梶野 愛¹、Yan Gengwei^{1,3,5}、鈴木 達哉^{1,4}、谷中 冴子^{1,3}、山口 拓実^{1,3,6}、上久保 裕生⁷、内橋 貴之⁸、加藤 晃一^{1,3,4,5}（¹名市大薬、²JST・さきがけ、³分子研、⁴岡崎統合バイオ、⁵総研大、⁶北陸先端大、⁷奈良先端大、⁸金沢大）
- 11:40 **3C-09 ハイマンノース型糖鎖を有する糖タンパク質プローブを用いた小胞体品質管理機構の解明**
木内 達人¹、○和泉 雅之¹、岡本 亮¹、武田 陽一²、迫野 昌文²、伊藤 幸成^{2,3}、梶原 康宏^{1,2}（¹大阪大学大学院理学研究科、²JST ERATO、³理化学研究所）
- 12:00 **3C-10 血清中の遊離シアリル糖鎖 - 細胞質 PNGase 発見裏話**
○鈴木 匡（糖鎖代謝学研究チーム 理化学研究所）
- 15:00 **3C-11 酸性 PNGase (aPNGase) 過剰発現トマトの構築と表現型解析**
松丸 千紘¹、前田 恵¹、村田 翔平¹、中野 龍平¹、中村 浩介²、梶浦 裕之³、三崎 亮³、藤山 和仁³、木村 吉伸¹（¹岡山大学大学院環境生命科学、²カゴメ総研、³大阪大学国際交流センター）
- 15:20 **3C-12 植物コンプレックス型糖鎖の分解経路の解明: α 1,3-フコシダーゼの同定と解析**
加藤 俊¹、林 めぐみ¹、北川 真衣¹、前田 恵²、木村 吉伸²、五十嵐 圭日子³、笠原 賢洋¹、石水 毅¹（¹立命館大学生命科学部、²岡山大学大学院環境生命科学研究科、³東京大学大学院農学生命科学研究科）

セッション「癌・疾病 II」 15:40 - 17:20

座長：高橋 素子（札幌医科大学）、相川 京子（お茶の水女子大学）

- 15:40 **3C-13 炎症性腸疾患の新しい病態解明から臨床糖鎖免疫学の創成**
○鎌田 佳宏^{1,2}、藤井 宏修¹、新崎 信一郎²、高松 真二¹、三善 英知¹（¹大阪大学大学院医学系研究科機能診断科学、²大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）
- 16:00 **3C-14 レクチン ZG16p は大腸癌細胞の増殖を抑制する**
○水戸 晶子^{1,2}、斎藤 多佳子¹、グホ サビン³、相川 京子⁴（¹お茶大・院・人間文化・理学、²お茶大・院・リーディング、³お茶大・リーディング大学院推進センター、⁴お茶大・基幹研究院・自然科学系）
- 16:10 **3C-15 DCIR - 糖鎖間相互作用による骨代謝制御機構**
○矢部 力朗^{1,2}、海部 知則¹、丸橋 拓海¹、西城 忍²、舘野 浩章³、平林 淳³、岩倉 洋一郎¹（¹東京理科大学生命医科学研究所、²千葉大学真菌医学研究センター、³産業技術総合研究所創薬基盤研究部門）

- 16:20 **3C-16** **細胞接着における N 型糖鎖の機能発現と細胞内シグナル伝達**
顧 建国 (東北医科薬科大学 分子生体膜研究所)
- 16:40 **3C-17** **EGFR の N-型糖鎖の機能**
高橋 素子¹、長谷川 喜弘¹、和田 芳直²、加藤 公児³、姚 閱³、有木 茂¹、高宮 里奈¹、齋藤 充史¹、黒木 由夫¹ (¹札幌医科大学医学部医化学講座、²大阪府立母子保健総合医療センター、³北海道大学大学院先端生命科学研究院先端融合科学部門 X線構造生物学)
- 17:00 **3C-18** **統合失調症患者に見出された ST8SIA2/STX の rSNP が及ぼす影響とそのメカニズムの解析**
○羽根 正弥¹、早川 敏之²、北島 健¹、佐藤 ちひろ¹ (¹名大・生物機能セ、²九大・基幹教育院)
- 17:10 **3C-19** **ヘパリン類似物質及びエピモルフィンによる癩痕モデル細胞の挙動変化**
○堀米 知温¹、宅見 信哉²、中嶋 安弓²、矢野 博子²、平井 洋平¹
(¹関西学院大学大学院 理工学研究科、²小林製薬株式会社)

ポスター発表 ポスター会場 I
奇数 9月2日 13:00 - 14:30 / 偶数 9月3日 13:30 - 15:00

「合成・反応開発」 P-001 – P-046

- P-001 PNGase を阻害する糖鎖分子プローブの合成**
○市川 友美、石井 希実、吉村 弥生、松尾 一郎 (群馬大学院・理工)
- P-002 5 糖蛍光プローブを用いたエンド-β-N-アセチルグルコサミニダーゼの活性検出**
○石井 希実¹、須永 千恵¹、佐野 加苗¹、熊田 純一²、松崎 祐二²、吉村 弥生¹、松尾 一郎¹ (¹群馬大院・理工、²東京化成工業)
- P-003 小胞体エンドマンノシダーゼに対する多点認識型阻害剤の合成**
○山本 侑未子、久保 佳蓮、平野 真、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)
- P-004 小胞体エンドマンノシダーゼの性状解析を志向した小分子基質の合成研究**
○柴山 佳大、渡邊 千恵、平野 真、戸谷 希一郎 (成蹊大学・理工)
- P-005 光反応基を利用した LeX 型糖鎖をリガンドに持つ分子ツールの合成**
○大塚 功¹、定金 豊²、羽田 紀康³、渥美 聡孝¹、垣内 信子¹ (¹九州保健福祉大・薬、²鈴鹿医療科学大・薬、³東京理科大・薬)
- P-006 Leishmania 由来糖鎖構造を模倣したリン原子修飾糖 1-リン酸アナログの立体選択的合成**
○佐野 美知¹、野呂 美穂子²、原 倫太郎¹、和田 猛¹ (¹東京理科大院・薬、²東京大院・新領域)
- P-007 2,4-O-オルトキシリレン架橋したチオグルコシドのグリコシル化反応**
○坂本 康治、伊藤 幸成 (理化学研究所)

- P-008 無保護糖 N-グリコシル化反応によるグリコシルホルムアミドの合成**
○松川 旭仁、北森 あゆみ、三村 利香、前田 充俊、富重 蓮華、
富田 ゆみ子、市川 善康（高知大学理学部）
- P-009 立体特異的 TMS グリコシドの合成研究**
○浅見 悠里¹、河口 優香¹、蟹江 善美²、蟹江 治²（¹東海大学工学部、
²東海大学先進生命科学研究所）
- P-010 Kdo 誘導体を供与体を用いる立体選択的グリコシル化反応**
○野口 晴佳、田坂 瑞葵、田中 琢也、一柳 剛（鳥取大学農学部）
- P-011 2,3-環状保護糖供与体を用いた 1,2-trans-選択的グリコシド化の検討**
○八神 なほ子^{1,2}、小西 美紅^{1,2}、玉井 秀樹^{1,2}、植木 章晴^{1,2}、今村 彰宏¹、
安藤 弘宗^{1,2}、石田 秀治¹、木曾 真^{1,2}（¹岐阜大・応用生物、²京都大・iCeMS）
- P-012 異常配座糖を用いたグリコシル化反応における S_N2 性の亢進**
○橋本 悠介¹、谷川 紗希²、齋藤 良太²、佐々木 要²（¹東邦大院理、
²東邦大理）
- P-013 α-リボフラノシドの高立体選択的合成**
○岡 夏央、森井 鴻介、梶野 麟、安藤 香織（岐阜大学工学部）
- P-014 D-プシコフラノシル化反応における糖供与体の保護基が及ぼす立体選択性**
○山ノ井 孝（城西大学薬学部）
- P-015 二種類の支持電解質共存条件下における立体選択的電解グリコシル化反応**
○北村 京¹、磯田 悠太¹、佐々木 紀彦¹、佐藤 匠¹、野上 敏材^{1,2}、伊藤
敏幸^{1,2}（¹鳥取大学大学院工学研究科、²鳥取大学工学部附属グリーン・サ
ステナブル・ケミストリー研究センター）
- P-016 電解グリコシル化反応のための多機能型イオン液体タグの開発**
○佐々木 紀彦¹、磯田 悠太¹、野上 敏材^{1,2}、伊藤 敏幸^{1,2}（¹鳥取大学大
学院工学研究科、²鳥取大学工学部附属グリーン・サステナブル・ケミスト
リー研究センター）
- P-017 混合支持電解質条件を用いた立体選択的な TMG-キトトリオマイシン類縁体合成**
○磯田 悠太¹、北村 京¹、佐々木 紀彦¹、高橋 宗治¹、野上 敏材^{1,2}、伊
藤 敏幸^{1,2}（¹鳥取大学大学院工学研究科、²鳥取大学工学部附属グリーン・
サステナブル・ケミストリー研究センター）
- P-018 オリゴマンノシド前駆体の液相電解自動合成**
○佐藤 匠¹、佐々木 紀彦¹、野上 敏材^{1,2}、伊藤 敏幸^{1,2}（¹鳥取大学大学
院工学研究科、²鳥取大学工学部附属グリーン・サステナブル・ケミストリー
研究センター）
- P-019 酵素による速度論的光学分割を経る光学活性含フッ素化糖の De Novo 合成**
○野上 敏材^{1,2}、林 詩穂¹、塚原 綾菜¹、高柳 恵輔¹、伊藤 敏幸^{1,2}
（¹鳥取大学大学院工学研究科、²鳥取大学工学部 GSC 研究センター）

- P-020 光反応を利用したデオキシアミノ糖類の合成研究**
 ○佐藤 啓介¹、福山 高英²、柳 日馨²、井貫 晋輔¹、藤本 ゆかり¹
 (¹慶應義塾大学・理工、²大阪府立大院・理)
- P-021 グラム陰性菌由来ヘプトース 1β,7-ビスリン酸の合成研究**
 ○井貫 晋輔¹、相羽 俊彦^{1,2}、河上 祥大¹、藤本 ゆかり¹ (¹慶應義塾大学理工学部、²大阪大学大学院理学研究科)
- P-022 フッ素を導入したオクチルグルコシド誘導体の合成とその物性評価**
 ○齋藤 隆行、石川 愛実、吉村 弥生、松尾 一郎 (群馬大院理工)
- P-023 2-デオキシ-scyлло-イノソースを鍵原料としたα系列カルバ糖の合成研究**
 ○宮風 達雄^{1,2}、館田 尚家²、佐藤 大輔¹、木下 裕市¹、石黒 正路^{1,2}
 (¹新潟薬大・応用生命、²新潟薬大院・応用生命)
- P-024 LacdiNAc 構造含有 8 糖の効率的合成**
 ○宇津井 隆志、赤井 華純、吉村 弥生、松尾 一郎 (群馬大院・理工)
- P-025 アシアロ複合型糖鎖の合成研究**
 ○土本 里帆、岩田 昂大、横溝 里佳、平野 真、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)
- P-026 Flip Flop 現象の解明に向けた高マンノース型糖鎖の合成研究**
 ○佐野 加苗、吉村 弥生、松尾 一郎 (群馬大院理工)
- P-027 糖鎖固定化カーボンナノ粒子の開発研究**
 ○阿多 優里菜、新地 浩之、若尾 雅広、隅田 泰生 (鹿児島大・院理工)
- P-028 非還元末端にガラクトース 1 残基を有する複合型 7 糖オキサゾリンの合成**
 ○大隅 賢二、黒河内 政樹、森 昌子、菅原 州一、水野 真盛、白井 孝、松田 昭生 ((公財)野口研究所)
- P-029 Lyso-phosphatidyl-β-D-glucoside の合成**
 ○大山 純平、吉村 弥生、松尾 一郎 (群馬大院理工)
- P-030 ブラインシュリンプ由来新規糖脂質の合成研究 (4)**
 ○金谷 貴行¹、川村 美由¹、渡邊 敏子¹、羽田 紀康² (¹国際医福大薬、²東京理大薬)
- P-031 Entamoeba histolytica 由来リゾ型糖イノシトールリン脂質の合成と構造活性相関**
 ○相羽 俊彦^{1,2}、末原 紗英²、ハナ ベルニン³、ハナ ロッター³、井貫 晋輔²、深瀬 浩一¹、藤本 ゆかり² (¹大阪大学大学院理学研究科化学専攻、²慶應義塾大学理工学部化学科、³ベルンハルトノホト熱帯病医学研究所)
- P-032 希少糖含有糖脂質の合成と解析**
 ○平田 圭亮¹、内田 貴司^{1,2}、中島 義賢^{1,2}、水木 徹^{1,2} (¹東洋大学大学院学際・融合科学研究科、²東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター)

- P-033 脂質ラフトの一分子イメージングに向けた b 系列ガングリオシドプローブの合成研究**
○小西 美紅^{1,2}、河村 奈緒子^{1,2}、鈴木 健一²、今村 彰宏¹、安藤 弘宗^{1,2}、石田 秀治¹、楠見 明弘²、木曾 真^{1,2}(¹岐阜大・応用生物、²京都大・iCeMS)
- P-034 結核関連糖鎖の化学合成**
○小泉 晶彦^{1,2}、Zou Lu^{1,2}、Zheng Ruixiang B.^{1,2}、Lowary Todd L.^{1,2}
(¹アルバータ大、²アルバータグライコミクスセンター)
- P-035 ブロック合成による分岐構造を有する LPS/LOS の酸性内部コア 4 糖および 5 糖の合成研究**
○成本 裕文、蟻 瑞欽、野添 未来、一柳 剛 (鳥取大学農学部)
- P-036 ω-ヒドロキシ脂肪酸の効率的合成および精製**
中塚 宏志、宮田 健吾、田村 敦裕、松本 恵実、中塚 進一 (長良サイエンス株式会社)
- P-037 硫酸化糖鎖合成にむけた遊離硫酸基をもつ糖供与体の合成とグリコシル化反応**
○満保 章泰、岡本 亮、和泉 雅之、梶原 康宏 (大阪大学大学院理学研究科化学専攻)
- P-038 ケラタナーゼ II の糖転移能を利用した硫酸化 Lewis X 含有 II 型糖鎖の合成研究**
山崎 悠司、木村 俊作、○大前 仁 (京都大学大学院工学研究科材料化学専攻)
- P-039 コンドロイチン硫酸 D 型オリゴ糖の合成**
○上村 明寿美¹、松下 健也²、中田 有美¹、武田-奥田 尚子¹、田村 純一^{1,2} (¹鳥取大地域環境、²鳥取大院工)
- P-040 デングウイルス感染阻害剤を目的とした GalNAc3S6S, GalNAc3S4S6S 誘導体の合成研究**
○桜木 美穂¹、鈴木 絢佳¹、能任 真弘¹、左 一八²、中野 博文¹ (¹愛知教育大学、²会津大学短期大学部)
- P-041 Fuc α 1-6GlcNAc 結合の酸性条件下での安定性の検討**
○杉原 礼子^{1,2}、後藤 浩太郎¹、松田 昭生¹、水野 真盛¹ (¹(公財)野口研究所、²東海大・工)
- P-042 GlcNAc-Asn 担持ジヌクレオチドの効率的合成**
○片岡 正典¹、福井 千春¹、小槻 日吉三¹、本家 孝一² (¹高知大学総合研究センター、²高知大学医学部生化学講座)
- P-043 1 段階反応による糖ヌクレオチドの合成と糖転移酵素反応への利用**
○外山 沙那実¹、瀬古 玲²、武田 陽一²、伊藤 幸成^{2,3}、山村 初雄¹、宮川 淳¹ (¹名工大院工、²JST-ERATO、³理研)
- P-044 4-メチルベンジル基を用いた alpha-シアリル糖ペプチドの合成研究**
○竹田 直樹、武居 俊樹、朝比奈 雄也、北條 裕信 (大阪大学蛋白質研究所)

P-045 マイクロバイオリクターシステムを活用した複合糖質合成
○大石 岳史¹、羽田 勝二²、木村 啓志³、稲津 敏行² (¹東海大学大学院
機械工学専攻、²東海大学工学部応用化学科、³東海大学工学部機械工学科)

P-046 コアフコースを有する N-結合型糖鎖に作用するエンド M 変異酵素の作出
○加藤 紀彦¹、片山 高嶺^{1,2}、苫米地 祐輔²、岩城 隼³、熊田 純一³、
松崎 祐二³、山本 憲二² (¹京大院・生命、²石川県大・生資研、³東京化
成工業)

「ケミカルバイオロジー・イメージング」 P-047 – P-049

P-047 ハイマンノース型糖鎖を有するシアル酸転移酵素の半化学合成
○島田 有彩、岡本 亮、和泉 雅之、梶原 康宏 (大阪大学大学院理学研究
科化学専攻)

P-048 HaloTag テクノロジーによる生細胞への糖鎖提示とそれを用いた機能解析
○三宅 秀斗¹、初村 洋紀¹、樺山 一哉¹、真鍋 良幸¹、山地 俊之²、花田
賢太郎²、深瀬 浩一¹ (¹大阪大学大学院理学研究科、²国立感染症研究所)

P-049 蛍光標識化 lactosyl sphingosine による細胞膜脂質の動態解析
○新井 健太¹、蟹江 善美²、蟹江 治²、樺山 一哉¹、深瀬 浩一¹ (¹大阪
大学理学研究科化学専攻、²東海大学 先進生命科学研究所)

「計算科学・バイオインフォマティクス」 P-050 – P-056

P-050 木編集距離を用いた糖鎖の多重配列アラインメントツールの開発
○高橋 悠志、木下 聖子 (創価大学大学院工学研究科生命情報工学専攻)

P-051 糖鎖解析のためのウェブリソース RINGS の拡張
東本 伸一、木下 聖子 (創価大学大学院工学研究科生命情報工学専攻)

P-052 GlyTouCan の糖鎖関係情報を可視化するウェブツールの開発
○徳永 敬子、木下 聖子 (創価大学大学院工学研究科生命情報工学専攻)

P-053 ショウジョウバエ糖鎖関連データベースにおける Semantic Web の活用
潮田 雄揮、木下 聖子 (創価大学大学院工学研究科生命情報工学専攻)

**P-054 JCGGDB のセマンティックウェブ化に伴う検索の高機能化と
新しいグライコフォームのデータベース**
○鹿内 俊秀¹、ソロビヨワ イエレナ¹、藤田 典昭¹、鈴木 芳典¹、山田 一
作²、木下 聖子^{1,3}、梶 裕之¹、成松 久¹ (¹産業技術総合研究所、²野口
研究所、³創価大学)

P-055 糖鎖関連の遺伝性疾患と原因遺伝子に関する知識ベースの開発
○ソロビヨワ イエレナ¹、藤田 典昭¹、鹿内 俊秀¹、木下 聖子^{1,2}、成松 久¹
(¹産総研・糖鎖技術研究グループ、²創価大学・理工学部)

**P-056 バイオインフォマティクスによる O-GlcNAc 転移酵素の
アミノ酸配列特異性解析**

○田中 純、藤井 正興、小島 寿夫、伊藤 将弘（立命館大学院・生命科学
研究科）

ポスター発表 ポスター会場 II

奇数 9月2日 13:00 - 14:30 / 偶数 9月3日 13:30 - 15:00

「糖鎖解析」 P-057 - P-074

**P-057 PMP 誘導体化及び汎用質量分析計を用いた O-グリコシド結合型糖鎖結合
位置の解析**

○太田 里子、森脇 有加、齋藤 恵、野口 隆典、水野 保子（東レリサーチ
センター）

**P-058 弱酸存在下でのヒドラジンガス処理によるムチン型糖鎖切りだし条件の
検討および応用**

○五艘 行信¹、石原 和彦²、栗原 誠³（¹北里大・医、²北里大学保健衛生
専門学院、³神奈川工大・応用バイオ）

P-059 セルロース親水性相互作用/逆相 StageTip を用いた迅速糖ペプチド濃縮

○亀田 康太郎、太田 悠葵、川崎 ナナ（横浜市立大学院生命医科学研究科
プロテオーム科学研究室）

P-060 GlycanBuilder における WURCS 入出カユーティリティの実装

○土屋 伸一郎¹、松原 正陽²、山田 一作²、木下 聖子^{1,3}、成松 久³
（¹創価大院工、²（公財）野口研・糖鎖有機、³産総研・糖鎖研究グループ）

**P-061 化学-酵素合成法による安定同位体標識高マンノース型 GM9 糖鎖の調製と
NMR 立体構造解析**

○鈴木 達哉^{1,2}、梶野 愛²、ZHU Tong^{1,2,3}、佐藤 匡史²、谷中 冴子^{1,2}、
山口 拓実^{1,2,3,4}、加藤 晃一^{1,2,3}（¹分子研・岡崎統合バイオ、²名市大薬、
³総研大物理、⁴北陸先端大マテリアル）

**P-062 エタノール沈殿法による血液型特異的スフィンゴ糖脂質および
遊離オリゴ糖鎖の血液型抗原の同定**

○岡田 和恵¹、古川 潤一¹、横田 育子²、花松 久寿¹、大西 俊介³、湯山 耕平¹、
酒井 祥太¹、伊東 信⁴、五十嵐 靖之¹、坂本 直哉³、篠原 康郎¹（¹北大院・先
端生命、²北大医・整外、³北大医・消内、⁴九大院・農）

P-063 R-spondin3 における C-mannosylation の同定と機能解析

○加藤 慎太郎¹、藤原 未帆¹、丹羽 祐貴¹、鈴木 健裕²、土屋 みゆ¹、
笹澤 有紀子¹、堂前 直²、清水 史郎¹（¹慶應義塾大学理工学部応用化学科、
²理化学研究所環境資源科学研究センター技術基盤部門生命分子解析ユニット）

- P-064 ヒト血清由来の可溶性 FcγレセプターIIIb の部位特異的な N 型糖鎖の構造解析**
 ○矢木 宏和¹、高倉 大輔²、Lubka T. Roumenina³、Wolf Herman Fridman³、Catherine Sautès-Fridman³、川崎 ナナ²、加藤 晃一^{1,4} (1名古屋市立大学大学院薬学研究科、²横浜市立大学生命医科学研究科、³UMRS1138, Université Paris Descartes、⁴自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター)
- P-065 超百寿者血漿タンパク質の N-結合型糖鎖シアル酸結合様式の解析**
 ○津元 裕樹¹、西風 隆司²、橋井 則貴³、三浦 ゆり¹、阿部 由紀子⁴、新井 康通⁴、岩本 慎一²、石井 明子³、広瀬 信義⁴、田中 耕一²、遠藤 玉夫¹ (1東京都健康長寿医療センター研究所、²島津製作所、³国立医薬品食品衛生研究所、⁴慶応大学医学部)
- P-066 糖鎖プライマー法を用いたヒト前立腺がん細胞に発現する糖鎖の解析**
 ○佐々木 克昌¹、小坂 威雄²、大家 元嗣²、佐藤 智典¹ (1慶大理工、²慶大医)
- P-067 細胞と個体がもたらす老化に伴う糖鎖の変化**
 ○板倉 陽子、佐々木 紀彦、豊田 雅士 (東京都健康長寿医療センター研究所・老年病態)
- P-068 マウス骨格筋由来 C2C12 細胞の糖鎖発現と運動の相関解析**
 ○脇坂 卓実¹、佐藤 整¹、石井 貴之¹、堀内 里紗¹、根建 拓¹、宮西 伸光^{1,2} (1東洋大学大学院生命科学研究科、²東洋大学大学院食環境科学研究科)
- P-069 銀ナノコロイド曝露を受けたイネ初期生長時における糖鎖の挙動**
 ○堀内 里紗¹、中島 由加里²、柏田 祥策^{1,3}、宮西 伸光^{1,2,3,4} (1東洋大院・生命、²東洋大・食環境、³東洋大・生環研セ、⁴東洋大院・食環境)
- P-070 マラリア原虫由来 VAR2CSA タンパク質に結合性を示すコンドロイチン硫酸の解析**
 ○塩入 達政¹、土本 純¹、トーマス マンデル クラウゼン²、渡辺 秀人¹、アリ サランティ²、杉浦 信夫¹ (1愛知医科大学分子医科学研究所、²コペンハーゲン大学医学寄生虫学センター)
- P-071 バーシカンにおけるコンドロイチン硫酸鎖結合部位の解析**
 ○土本 純¹、塩入 達政¹、杉浦 信夫¹、若槻 明彦²、渡辺 秀人¹ (1愛知医科大学分子医科学研究所、²愛知医科大学産婦人科学講)
- P-072 ニホンジカ鹿茸に含まれるコンドロイチン硫酸量と組成分析**
 武田-奥田 尚子、植村 優那、大村 優華、谷 明里、三谷 真鈴、○田村 純一 (鳥取大地域環境)
- P-073 アフリカツメガエル消化管のコンドロイチン硫酸組成とコンドロイチン硫酸基転移酵素の発現解析**
 岡 秀俊¹、田村 純一²、武田-奥田 尚子²、割田 克彦¹、保坂 善真¹ (1鳥取大学農学部獣医学科、²鳥取大学地域学部地域環境学科)

- P-074 ケラタン硫酸二糖の枝分かれ構造を有するコンドロイチン硫酸の同定**
○東 恭平¹、武田 圭太¹、向野 杏¹、岡本 悠祐¹、Linhardt RJ²、
戸井田 敏彦¹ (¹千葉大学大学院薬学研究院、²レンセリア工科大学)

「糖鎖生合成・分解経路」 P-075 – P-089

- P-075 植物ゴルジ体局在キシラン：キシロース転移酵素複合体の解析**
○平岡 誉登¹、加藤 大詞¹、高田 和拓¹、大谷 美沙都²、米田 新²、
出村 拓²、石水 毅¹ (¹立命館大学生命科学部、²奈良先端科学技術大学院
大学バイオサイエンス研究科)
- P-076 キシログルカンに作用する植物 α 1,2-フコシダーゼに含まれる
新規糖質結合モジュールの同定**
○松廣 拓真、上野 皓輝、石水 毅 (立命館大学生命科学部)
- P-077 植物ゴルジ体膜局在バクチン生合成関連酵素複合体の解析**
○高田和拓、加藤 大詞、平岡 誉登、石水 毅 (立命館大学生命科学部)
- P-078 棘皮動物ウニのオリゴ・ポリシアル酸転移酵素遺伝子の超多様性の発見と解析**
○吉村 淳^{1,2}、萩原 尚文^{1,2}、土岐 沙也加^{1,2}、宮田 真路^{1,2}、清本 正人³、
佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2} (¹名大・生物機能セ、²名大・生命農学、³お
茶大・湾岸生物セ)
- P-079 哺乳類細胞におけるデアミノノイラミン酸の取込み機構の解析**
○岩木 佑弥^{1,2}、郷 慎司³、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2} (¹名大院・生命
農学、²名大・生物機能セ、³東北医科薬科大・分子生体膜研)
- P-080 デルマトン硫酸の生合成不全によるエーラス・ダンロス症候群の
糖鎖生物学的研究**
水本 秀二¹、古庄 知己²、本田 智子³、中島 正宏⁴、Thomas Muller⁵、
三宅 紀子⁶、簗持 淳⁷、松本 直通⁶、Andreas R Janecke⁵、池川 志郎⁴、
菅原 一幸^{1,3}、○山田 修平¹ (¹名城大・薬、²信州大・医、³北大院・生命、
⁴理研・骨関節疾患、⁵Dep of Pediatrics I, Innsbruck Med Univ, Austria、
⁶横浜市大・医、⁷獨協医大・医)
- P-081 シグナル糖鎖産生の選択的阻害を基軸とした糖タンパク質選別経路の解明**
○栗原 大輝¹、平野 真¹、スペチアーレ ガエタノ²、ウィリアムズ スペ
ンサー J²、伊藤 幸成³、戸谷 希一郎¹ (¹成蹊大・理工、²メルボルン大、
³理研)
- P-082 合成糖タンパク質を用いた PDI およびシャペロンの活性評価**
○山内 美紀、和泉 雅之、岡本 亮、梶原 康宏 (大阪大学大学院理学研究科)
- P-083 PI4KII α によるインテグリン α 3 β 1の制御と N-型糖鎖調節**
○伊左治 知弥、任 翔壘、福田 友彦、顧 建国 (東北医科薬科大学分子生
体膜研究所細胞制御学)

- P-084 GPI アンカー型タンパク質の小胞体からの輸送に働く p24 タンパク質複合体のサブユニット構成の解析**
○田島 優子、木下 タロウ（大阪大学微生物病研究所）
- P-085 立体構造モデルに基づいた GPI-GalNAc 転移酵素 PGAP4 による GPI 側鎖合成機構**
○平田 哲也^{1,2}、Sushil Kumar Mishra³、中村 昇太¹、元岡 大祐¹、神澤 範行^{1,2}、藤田 盛久⁴、村上 良子^{1,2}、前田 裕輔^{1,2}、山口 芳樹³、木下 タロウ^{1,2}（¹大阪大学微生物病研究所、²大阪大学免疫学フロンティア研究センター、³理化学研究所、⁴江南大学生物工程学院）
- P-086 ホスホイノシタイドはグルコシルセラミド合成酵素を阻害する**
○石橋 洋平¹、伊東 信^{1,2}、平林 義雄³（¹九大院・農・生命機能、²九大院・農・i-BAC、³理研 BSI）
- P-087 PUGNAc 処理による血管内皮細胞での Gb4Cer 発現増加と関連酵素遺伝子の発現解析**
○奥田 徹哉、森田 直樹（産業技術総合研究所生物プロセス研究部門）
- P-088 糖脂質の量的・質的变化はヒト黄体の機能制御に関与する**
○小林 純子¹、岩永 敏彦¹、W. Colin Duncan²（¹北海道大学大学院医学研究科組織細胞学分野、²MRC Centre for Reproductive Health, The Queen's Medical Research Institute, The University of Edinburgh）
- P-089 Sd^a 抗原/GM2 に作用するビフィズス菌由来のバイファンクショナル酵素**
○米野 雅大¹、鈴木 里奈²、芦田 久¹（¹近畿大院・生物理工、²京大院・生命科学）

「糖鎖認識」 P-090 – P-107

- P-090 アネキシン A4 はスルファチドによる血液凝固内因性経路の活性化を阻害する**
○中山 萌絵香^{1,2}、宮川 瞳¹、倉浪 佑実子¹、相川 京子³（¹お茶の水女子大・院・人間文化・理学、²お茶の水女子大・院・リーディング、³お茶の水女子大・基幹研究院・自然科学系）
- P-091 硫酸化糖脂質セミノリピドはセルトリ細胞のエクソソーム分泌を促進する**
○山下 竜幸¹、仁尾 景子²、矢生 健一⁴、宮原 馨²、津田 雅之³、小杉 智規⁵、門松 健治⁵、本家 孝一²（¹高知大学医学部附属先端医療学推進センター、²高知大学医学部生化学講座、³高知大学総合研究センター、⁴高知大学設備サポート戦略室、⁵名古屋大学医学部生化学講座）
- P-092 ラムノース結合性レクチンはヒトセミノーマ細胞株 JKT-1 においてインテグリン $\alpha 2$ の発現を増加させる**
○菅原 栄紀、任 彰堯、立田 岳生、細野 雅祐（東北医科薬科大薬学部分子生体膜研究所分子認識学部門）

- P-093 細胞骨格タンパク質ビメンチンを認識する新規 N-アセチルグルコサミン糖鎖高分子の開発**
○山崎 貞徳¹、伊勢 裕彦²、三浦 佳子¹ (¹九州大学大学院工学府、²九州大学先端物質化学研究所)
- P-094 N-アセチルグルコサミン糖鎖高分子によって見出された Type3 型中間径フィラメントのレクチン活性**
○伊勢 裕彦¹、山崎 貞徳²、三浦 佳子² (¹九州大学先端物質化学研究所、²九州大学大学院工学府)
- P-095 ガレクチン-2 が線虫 *Caenorhabditis elegans* の成長に与える影響**
○武内 智春、田村 真由美、荒田 洋一郎 (城西大学薬学部)
- P-096 糖鎖生物学用ツール分子の開発に向けたプラディミシン A の Ca²⁺結合部位の同定**
○都築 麗江¹、中川 優^{1,2}、戸村 友彦¹、土井 崇嗣³、竹腰 清乃理³、五十嵐 康弘⁴、伊藤 幸成²、小鹿 一¹ (¹名大院・生命農、²理研、³京大院・理、⁴富山県大・生工)
- P-097 ヒト濃縮型ヌクレオシドトランスポーター hCNT2 の機能的発現に対する C 末端領域糖鎖修飾の影響**
○小林 涼子¹、川口 奈奈美²、小川 温子¹ (¹お茶の水女子大学理学部、²お茶の水女子大学大学院理学専攻)
- P-098 糖鎖-タンパク質相互作用解析のためのフルオラス糖鎖プローブの開発**
○高山 幹生、藤田 遥一、西村 大祐、羽田 勝二、稲津 敏行 (東海大・工)
- P-099 分子内に二つのマルトシド残基を有するゴシポール誘導体の合成とその分光学的特性**
○中村 真基¹、天野 善継²、長谷川 輝明^{2,3} (¹東洋大院生命、²東洋大生命、³東洋大バイオナノ)
- P-100 プラディミシンと真菌の細胞壁マンナンとの結合解析**
○山地 史哉¹、中川 優^{1,2}、渡邊 泰典¹、五十嵐 康弘³、伊藤 幸成²、小鹿 一¹ (¹名大院・生命農、²理研、³富山県大・生工)
- P-101 固体 NMR によるプラディミシン A とマンノトリオースとの相互作用解析**
○渡邊 泰典¹、中川 優^{1,2}、伊藤 幸成²、土井 崇嗣³、竹腰 清乃理³、五十嵐 康弘⁴、小鹿 一¹ (¹名大院・生命農、²理研、³京大院・理、⁴富山県大・生工)
- P-102 ポリシアル酸修飾された神経細胞接着分子が持つ反接着機能の新たな評価法の確立**
○森 愛理^{1,2}、新美 百希^{1,2}、松岡 修平^{1,2}、羽根 正弥^{1,2}、北島 健^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2} (¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農学)
- P-103 一分子蛍光システムを用いた糖鎖間相互作用のメカニズム解析**
○岩村 真帆¹、三慶 良介²、長谷川 輝明^{2,3} (¹東洋大院生命、²東洋大生命、³東洋大バイオナノ)

- P-104 ポリフェニルアセチレン型糖鎖高分子による糖鎖間相互作用解析**
○松岡 亮次¹、本橋 良太²、長谷川 輝明^{2,3} (¹東洋大院生命、²東洋大生命、³東洋大バイオナノ)
- P-105 糖修飾トリスフェナントロリン鉄錯体の合成とコンフォメーション解析**
○代 芙美子¹、長谷川 輝明^{1,2} (¹東洋大院生命、²東洋大生命、³東洋大バイオナノ)
- P-106 ブラジキニン B2 受容体の活性を調節する N 結合型糖鎖とシステイン残基**
○大関 俊範、黒田 喜幸、中川 哲人、東 秀好 (東北医薬大・分生研・生体膜情報)
- P-107 グルカン結合性タンパク質 laforin の一酸化窒素による修飾と Lafora 病への関与**
豊田 理花子¹、本庶 仁子^{1,2}、佐藤 あやの¹ (¹岡山大学、²広島大学)

ポスター発表 ポスター会場 III

奇数 9月2日 13:00 - 14:30 / 偶数 9月3日 13:30 - 15:00

「免疫・感染」 P-108 - P-111

- P-108 Entamoeba histolytica と Entamoeba dispar レクチンの活性比較研究**
○加藤 健太郎¹、橋 裕司² (¹長崎大学熱帯医学研究所寄生虫学分野、²東海大学医学部)
- P-109 B 型肝炎ウイルス複製機構と宿主糖鎖機能との関連**
○伊藤 清顕¹、米田 政志¹、安形 清彦²、成松 久² (¹愛知医科大学、²独立行政法人産業技術総合研究所)
- P-110 病原性真菌は免疫賦活化糖脂質を分解することで Mincle を介した自然免疫系から逃避する**
○渡辺 昂¹、永田 雅大²、今井 崇史²、藤田 実花¹、谷 元洋³、石橋 洋平¹、沖野 望¹、山崎 晶²、伊東 信¹ (¹九大院・農・生命機能、²九大・生医研・分子免疫学、³九大院・理・化学)
- P-111 ヘパラーゼ阻害物質 heparastatin(SF4)は炎症細胞の浸潤と基底膜分解を抑制する**
○東 伸昭¹、須江 真由美¹、志田 拓顕¹、小金 裕介¹、西村 吉雄²、安達 勇光²、Elzbieta Kolaczowska³、Magdalena Kepka³、中島 元夫⁴、入村 達郎^{1,5} (¹東京大院薬、²微生物化学研究所、³ヤギエウォ大、⁴SBIファーマ(株)、⁵順天堂大)

「神経・筋」 P-112 - P-118

- P-112 ゼブラフィッシュ VIPL レクチンの機能喪失は、てんかん発作様の異常行動を引き起こす。**
○浅川 和秀^{1,2}、川上 浩一^{1,2} (¹国立遺伝学研究所、²総合研究大学院大学)

- P-113 特定の N 型糖鎖が AMPA 型グルタミン酸受容体サブユニット GluA1 の細胞内輸送を制御する**
○山本 采季、森瀬 譲二、竹松 弘、岡 昌吾（京都大学院・医・人間健康科学）
- P-114 シアル酸転移酵素 ST3Gal IV 遺伝子欠損マウスの海馬歯状回・神経細胞の形態変化について**
○薄 美有、廣田 暖奈、藤田 明子、加藤 啓子（京都産業大学大学院生命科学研究科）
- P-115 シアル酸転移酵素 ST3Gal IV 欠損マウスの統合失調症様症状について**
○太田 知沙、廣田 暖奈、藤田 明子、加藤 啓子（京都産業大学大学院生命科学研究科）
- P-116 油脂飼料を摂食したシアル酸転移酵素 ST3Gal IV 遺伝子欠損マウスにおける認知行動について**
○加藤 啓子（京都産業大学大学院生命科学研究科）
- P-117 ショウジョウバエの神経筋接合部においてグリピカンはシナプス可塑性を調節する**
○神村 圭亮、小田嶋 愛子、前田 信明（(公財) 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野）
- P-118 デコリン糖鎖であるコンドロイチン硫酸 B による筋分化の制御**
○保坂 善真、三宅 耶衣、割田 克彦（鳥取大学・農学部・獣医解剖学）

「発生・再生」 P-119

- P-119 ニワトリとウズラにおける CD52 様糖タンパク質遺伝子の存在証明**
鈴木 英里子^{1,2}、○是枝 達也^{1,2}、木下 圭司^{2,3}、大森 保成^{2,3}、
宮田 真路^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2}（¹名大 生物機能セ、²名大院 生命農学、³名大 鳥類バイオセ）

「癌・疾病」 P-120 – P-130

- P-120 ヒトがん細胞株におけるガングリオシド GD1 α と GM1b の発現機能解析**
○ブイヤ ロビウル ハサン^{1,2}、コンドウ ユウジ¹、ヤマグチ トキアキ¹、
トクダ ノリヨ¹、オオカワ ユウキ²、オオウミ ユウスケ²、タカノ マイコ^{1,2}、
ジャン プー^{1,2}、エサキ ノブトシ^{1,2}、ヤマウチ ヨシオ¹、フルカワ ケイコ³、
オカジマ テツヤ¹、フルカワ コウイチ^{1,2}（¹Dept. of Biochem II, Nagoya Univ. Grad. Sch. of Med.,
²Chubu Univ. College of Life and Health Sci.,
³Dept. of Biomed. Sci., College of Life and Health Sci., Chubu Univ.）
- P-121 マウス肺がん細胞特異的に発現する細胞膜上分子会合体同定の試み**
○小谷 典弘¹、山口 亜利沙²、中野 貴成¹、荒木 智之¹、村越 隆之¹、
本家 孝一²（¹埼玉医科大学 医学部 生化学、²高知大学 医学部 生化学）

- P-122 フォーカストグライコミクスによって同定された硫酸付加された糖鎖腫瘍マーカー候補群**
岡本 三紀、○宮本 泰豪（大阪府立成人病センター）
- P-123 コアフコースの変化が非アルコール性脂肪肝炎の脂質代謝に与える影響**
○前田 知美¹、鎌田 佳宏^{1,2}、山本 晃子¹、戎谷 友佑¹、藤井 宏修¹、高松 真二¹、三善 英知¹（¹大阪大学大学院医学系研究科機能診断科学、²大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）
- P-124 抗精神疾患薬投与条件下におけるヒト神経細胞およびマウス脳のポリシアル酸構造の変動解析**
○阿部 智佳羅^{1,2}、西村 紗希^{1,2}、羽根 正弥^{1,2}、北島 健^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2}（¹名古屋大学大学院生命農学研究科、²名古屋大学生物機能開発利用研究センター）
- P-125 ヒト血管内皮細胞における加齢および細胞老化で増加するガングリオシド GM1 の機能について**
○佐々木 紀彦、板倉 陽子、豊田 雅士（東京都健康長寿医療センター研究所老年病態研究チーム血管医学）
- P-126 HIGA マウスの糸球体腎炎増悪機序におけるマンナン結合タンパク質の役割**
○本田 昌士¹、橋詰 祐希²、森本 達也²、小野 孝彦³、川崎 敏祐⁴、上村 和秀¹（¹中部大学・生命健康科学部、²静岡県立大学・薬学部、³国際医療福祉大学・腎臓内科、⁴立命館大学・糖鎖工学研究センター）
- P-127 C-マンノシル化 TSR 由来ペプチド結合標的分子が E-カドヘリン発現に与える影響**
○池崎 みどり¹、松村 考²、東本 菜月²、渋谷 幸直³、和田 芳直³、眞鍋 史乃⁴、伊藤 幸成⁴、井原 義人¹（¹和歌山県医大・医・生化、²和歌山県医大・医・大学院準備課程、³大阪府立母子保健総合医療セ研・代謝、⁴理研）
- P-128 β4-ガラクトース転移酵素 5 遺伝子の過剰発現による NIH3T3 細胞の性質の変化**
○高橋 映莉乃¹、佐藤 武史¹、熊谷 忠弘²、古川 清¹（¹長岡技科大院・工学研究科、²Complex Carbohydr. Res. Ctr., Univ. of Georgia）
- P-129 細胞表面糖鎖を標的にした B 型肝炎ウイルスの糖鎖治療の可能性**
○前田 晴香¹、下村 真由香¹、高松 真二¹、傍嶋 智明¹、鎌田 佳宏¹、黒田 俊一²、三善 英知¹（¹大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻機能診断科学講座分子生化学教室、²大阪大学産業科学研究所生体分子反応科学研究分野）
- P-130 イミノ糖を基盤とした GCase 高親和性リガンドの創製とファーマコロジカルシャペロン効果について**
○加藤 敦¹、中込 泉²、佐藤 香純¹、山本 亜里紗¹、足立 伊佐雄¹、広野 修一²（¹富山大病院薬、²北里大薬）

「糖質資源および関連酵素」 P-131

- P-131 Coprinopsis cinerea 由来 ENGase(Endo-CC)の温度、pH の安定性について**
○木下 崇司¹、住吉 渉¹、江島 康成²、樋口 裕次郎²、中北 慎一³、平林 淳³、竹川 薫²（¹株式会社伏見製薬所、²九大院・農、³香川大・総合生命・糖鎖機能）